

MOOSE ROOM WORKS

FIRE STAND 「hi-raku」 取扱い説明書

この度は MOOSE ROOM WORKS 製 FIRE STAND 「hi-raku」 を御購入頂き有難う御座いました。
FIRE STAND 「hi-raku」 はシンプルかつ使い易さをメインに考えられた焚火台になります。
説明書をよく読んで上で御使用ください。

【使用方法】

FIRE STAND 「hi-raku」 は持ち手を左右に開きながら地面に設置。
あとは薪をくべて火を付ければ焚き火が出来る簡単シンプル設計となっております。



【BANZAI 五徳の使い方①】

「hi-raku」 の五徳の一部は本体に装着されております。焚火台の左右に五徳がありますので、本体の左右から回して上へ移動。本体のうつわ部分にスリット（赤丸）が入っていますのではめ込んでください。本体のサイドに五徳橋渡しパーツが付属しておりますので、そちらを外して五徳のスリット部分にはめ込んで反対側の BANZAI 五徳と橋渡しください。スリットは 6 箇所ありますので、クッカーなどに合わせて位置調整をしてください。



【BANZAI 五徳の使い方②】

五徳をセットし、橋渡しパーツを一番手前、一番奥と取り付けをしてください。
スケルトンキューブの立体的な焚火台としてもご利用いただけます。



【焚火を終えたあとの灰捨て】

「hi-raku」は簡単に灰を捨てられる設計。焚火台が冷めた事を確認した後、BANZAI 五徳を取っ手にして左右にテンションを掛けると焚火台が閉まらずに移動する事が出来ます。灰捨て場に着きましたら、焚火台を閉めて、開いてを繰り返してください。焚火台中央に隙間があり、そこから灰が下に落ちていきます。燃焼しきれなかった大きな燃料に関しては隙間から落ちませんので御理解ください。あとは焚火台の脚に灰が付着してしまうので、綺麗に拭き取ってください。

【収納に関して】

灰を捨て終わったら、そのまま閉じ、橋渡しパーツを2枚重ねて焚火台本体の横のスリットに差し込めば収納完了です。



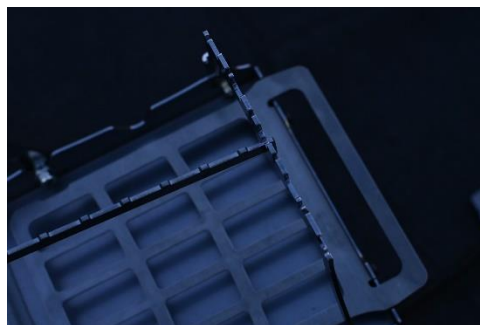
「hi-raku」は patan とほぼ同一の大きさとなっております。別売りの multi cotton case が使えますので、収納袋をご用命の方はそちらをお使いください。

【使用時の注意】

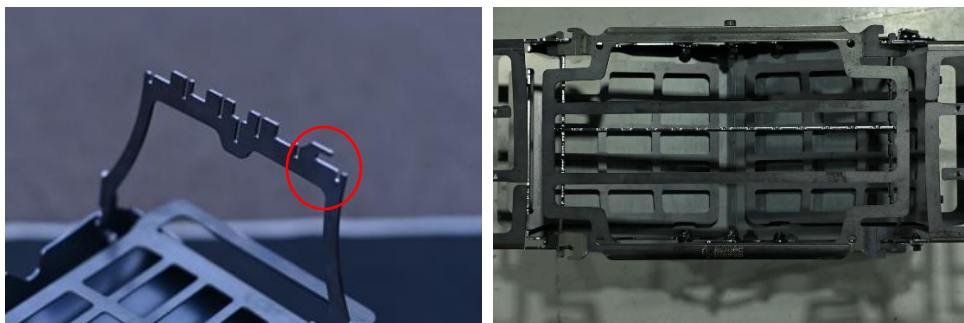
「hi-raku」は薪を使って焚き火をする事を想定しております。木炭を使用した際、温度が高い為に変形や歪みが出る可能性がありますので推奨いたしません。

【MOOSE 製 kakudo GOTOKU の融合】

FIRE STAND 「hi-raku」は kakudo GOTOKU を装着して使用する事が可能です。まず、BANZAI 五徳を通常通りセット。橋渡しパーツを下記赤丸中央に設置します。



その次に BAZAI 五徳の赤丸部分より手前に kakudo GOTOKU 載せてください。



そのまま kakudo GOTOKU を奥にスライドさせると kakudo GOTOKU がスリットにはまります。

そして最後に上から押しつけてあげて取り付け完了となります。

取り付け方法に関しては動画がありますので、良かったら下記 QR から参照ください。



【メンテナンスに関して】

本製品は鉄を使用しております。水分がついた状態で放置をすると錆の原因になります。しっかりと水分をふき取ってから保管してください。

【この部分は不良ではありません】

赤丸部分のネジ、ナットの締め付けが緩いですが、スライド機構を潤滑にする為の仕様になります。

Uナットという部品を使っており、工具を使わないと空転しないナットになっていますので御安心ください。



【注意点】

・本製品は熱源を乗せて使用する製品になります。その為、製品全体が高温になる可能性があります。絶対に素手で触らないようにしてください。やけどの原因になります。

※御使用の際は必ずグローブなどで手を保護してご使用ください。

※本製品を使用中、むやみに焚火台を移動する事は控えてください。

※本製品を使用する際は平らな所で使用する事を推奨します。

※木炭を使用した際、焚火台が歪む可能性があります。燃焼実験をした際には歪みは見られませんでした。長時間使用した際に歪む可能性がありますので、自己責任で御使用ください。

MOOSE ROOM WORKS

北海道札幌市中央区北 2 条西 2-29-1 札幌ウイングビル9F

お問い合わせは moose-room-canvas.stores.jp  まで